



第二小PTAによる集団資源回収

この集団資源回収の実施団体数も平成15年度は、30団体、平成16年度は、33団体と、多数行われており、(新聞・雑誌・ダンボール・古着)に限っては合計で、平成15年度は、50万820kg、平成16年度は、55万3123kgにおよぶ大量の資源物が回収されています。

このように、ゴミ指定袋でゴミとして出される資源物を、有効に利用するための活動が行われており、ゴミとして、クリーンパークで処理されるものが、

どこにあるの？  
役場と各小学校に設置しています。

リサイクルボックス  
どこにあるの？  
役場と各小学校に設置しています。

搬入できるものは？  
新聞・雑誌・ダンボール・古着です。役場のみアルミ缶も搬入できます。

搬入するときには、みなさんが気持ちよく使えるように、ボックスの奥から整理して積み重ね、投げ入れないようにしてください。

搬入できるもの以外は、絶対に入れないください。

集団資源回収運動  
年々増え続けるゴミに対し、ゴミの減量化および資源の有効利用を図るため、各種団体(行政区、組合、PTA、老人クラブ、スポーツ団体など)による、集団資源回収運動が行われています。

いつ行っているの？  
各種団体により、異なりますが、事前に回覧板や区の放送、小学校の児童へのチラシなどでお知らせしています。

活動状況は？  
この集団資源回収の実施団体数も平成15年度は、30団体、平成16年度は、33団体と、多数行われており、(新聞・雑誌・ダンボール・古着)に限っては合計で、平成15年度は、50万820kg、平成16年度は、55万3123kgにおよぶ大量の資源物が回収されています。

これだけ減っています。  
実施団体のみなさまには、今後もご協力をお願いいたします。

どんなものを回収しているの？  
新聞、雑誌、ダンボール、古着を回収します(団体により異なりますが、アルミ缶、一升瓶、ビール瓶、ビールケースなども回収されています)。



役場に設置しているリサイクルボックス

いつ搬入しているの？  
各施設とも、8時30分から17時までです。ただし、役場は年末の閉庁日から翌年の開庁日まで、各小学校は12月25日から翌年の始業式までが休みとなっています。

注意することは？  
各小学校は、児童の安全を確保するため搬入経路が、すべて裏口からになりますので、必ず守ってください。

土曜、日曜、祝日は、各施設が休みになるため、搬入するときは、各施設の警備員に報告してください。

新聞・雑誌・ダンボールは、折りたたんで、ビニールひもなどで十文字に結んでください。古着やアルミ缶は、ばらけないようにビニール袋などに入れ搬入してください。

資源の有効利用および環境汚染防止のため、廃棄物を原料として、再生し利用すること(リサイクル)が今、求められています。そこで、みなさんをお願いしたいのが、地域の集団資源回収運動、リサイクルボックスの利用です。

大事なのはリサイクル

それは、ゴミじゃない！資源物

集団資源回収運動

年々増え続けるゴミに対し、ゴミの減量化および資源の有効利用を図るため、各種団体(行政区、組合、PTA、老人クラブ、スポーツ団体など)による、集団資源回収運動が行われています。

いつ行っているの？  
各種団体により、異なりますが、事前に回覧板や区の放送、小学校の児童へのチラシなどでお知らせしています。

活動状況は？  
この集団資源回収の実施団体数も平成15年度は、30団体、平成16年度は、33団体と、多数行われており、(新聞・雑誌・ダンボール・古着)に限っては合計で、平成15年度は、50万820kg、平成16年度は、55万3123kgにおよぶ大量の資源物が回収されています。

これだけ減っています。  
実施団体のみなさまには、今後もご協力をお願いいたします。

どんなものを回収しているの？  
新聞、雑誌、ダンボール、古着を回収します(団体により異なりますが、アルミ缶、一升瓶、ビール瓶、ビールケースなども回収されています)。

どこにあるの？  
役場と各小学校に設置しています。

リサイクルボックス  
どこにあるの？  
役場と各小学校に設置しています。

搬入できるものは？  
新聞・雑誌・ダンボール・古着です。役場のみアルミ缶も搬入できます。

搬入するときには、みなさんが気持ちよく使えるように、ボックスの奥から整理して積み重ね、投げ入れないようにしてください。

搬入できるもの以外は、絶対に入れないください。

コメント

小学生は、44%、52%と約半数の児童が「ならないこと」に行っており、その多くが学習塾です。また、7割の児童が、行くことを「自分で」決めています。

中学生は、44%、48%が行っており、その多くが学習塾で、4人に1人は「家の人」から勧められています。調査時期が5月であったため、3年生は中体連大会終了の夏休み以後に「学習塾」の増加が予想されます。

小・中学校間に大差はありませんが、「行っていない」児童生徒のうち1割近くは「行きたい」と思っています。

月謝は、通う日数によって異なりますが、学習塾では一万円、ピアノ教室で五千円程度が相場です。

場所は、町内だけでなく、志免町、粕屋町、香椎など広範囲にわたっており、帰宅も午後9時以降が一般的です。交通安全や不審者など、安全対策には家族ぐるみで万全を尽くす必要があります。

学校の先生からのアドバイス

学習塾へ行っている人も行っていない人も、まずは学校での授業に集中することが第一です。通塾生の中には、学校と塾とが逆転している人がいます。塾からの帰宅が遅いため

に睡眠時間が短く、それをカバーするために授業中に居眠りをするようでは、本末転倒です。

また、「すでに塾で習っているから」と、授業中に私語をしたり集中しないようでは、十分な学力の向上は期待できません。

何を目的に塾に行くのか、しっかりと決意と覚悟を固めることが大切でしょう。

Q 学習塾から帰る子どもたちの姿を見ていて、気になることはありませんか。

質問 あなたは、少年野球などのスポーツクラブに入っていますか。

A 入っている

Q だれが決めましたか

A 自分

B 家の人

C その他

Q 月謝はいくらですか

I 入っていない

U 入りたくないと思う

コメント  
小学生は、3年生が3人に1人、四、五、六年生は半数以上がスポーツクラブに入っており、その8割以上が

自分で決めています。入っていない三年生の4人に1人は「入りたくない」と思っています。

中学生は、1年生10%、2年生14%、3年生15%が入っています。

中学生が少ないのは、7割、8割の生徒が学校の部活動に加入してあり、当然の数字と言えるでしょう。

子どもたちのスポーツクラブへの加入種目は、多い順に、野球、武道(剣道、柔道、拳法道、空手道など)水泳、卓球、となっています。

Q スポーツに励むことで、心・体を調和よく鍛えることができるでしょうか。

